

学年	科目	教科書名	副教材
高2 (特別進学)	地理探究	新詳地理探究 (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)	最新地理図表 GEO

1. 授業のねらい

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。また、地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目し、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力を養います。地理探求の授業を通じて、これからの世界や日本を知る未来志向の学習を進めます。

2. 授業のすすめ方

基本的に担当者が用意した授業プリント、LoiLo ノート (iPad アプリ)、教科書を中心に授業を展開していきます。また電子黒板などの ICT 機器を駆使した双方向かつ視覚的な授業を進めていきます。また、どうしてそうなるのか？ どうすれば良いのか？ ということを地理的視野で考える方向性をもつために、適時にグループワークを行う予定です。それに対応し、簡単な課題を与えます。定期考査だけでなく授業1時間、1時間が学業成績につながります。授業に参加しているかどうかは大切であり、重視するところです。授業内容は基本事項を理解することなくして、応用力は身につけません。「覚える」ことより「理解する」ことを大切にしましょう。なお、プリントを綴じこむ地理専用のファイルを用意して下さい。 iPad に関しては、授業中に指示があるまではしまっておくこと。

3. 学習上の留意点

- ① iPad は忘れないように持参してください。
- ② 地理にとって地図帳は必需品です。忘れることのないようにしましょう。
- ③ 常に「なぜ、そうなっているのか？」を考える。
- ④ 資料、統計、地図から推理する。
- ⑤ 常に世界の新しい情勢に注目する。

⇒ 地理は、単なる暗記科目ではありません。「連想ゲーム」のように関連づけて理解していくことが、知識を定着させるポイントになります。

4. 副教材・参考文献

<副教材> 新詳高等地図 (帝国書院)

必要に応じて授業の参考となる動画を配信します。試験前には練習問題を配信する場合があります。

5. 評価方法

- ① 定期考査：(100 点満点×5回)

出題内容は授業中に学習したもの、及びそれらの応用問題

- ② 平常点：(1・2学期20点 3学期10点) … (授業における質疑応答や、授業を受ける態度など。)

提出物も多くなります。当然、その内容も成績におおいに関係します。そして何より授業へ積極的に参加しているかを重視します。

- ③ 定期考査、平常点等を基に「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について学年末に評価します。

6. 指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
---	---	----------	------	------

一 学 期	四月	第2章 資源と産業 1節 農林水産業 1 農業の発達と分布 2 農業の地域区分	定期考査・授業態度・課題により評価する。 【中間考査】 【期末考査】	・自然条件の影響と社会条件の変化に伴って、変容してきた農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性が見られるかについて多面的、多角的に考察できる。 ・食料の分配の世界的な偏りや、飽食や飢餓が見られる地域とその原因を理解する。 ・世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、どのように生活や産業に利用されているか理解する。 ・人々の生活や産業の発展を支えてきた工業の発展過程とその変化について考察する。
	五月	3 現代世界の農業の現状と課題 4 日本の農業の現状と課題 5 世界と日本の林業 6 世界と日本の水産業		
	六月	2節 食料問題 3節 エネルギー・鉱産資源 1 エネルギー資源の種類と利用 2 化石燃料の分布と利用 3 電力の利用 4 鉱産資源の種類と利用		
	七月	4節 資源・エネルギー問題 5節 工業 1 工業の発達と種類 2 工業の立地 3 世界の工業地域 4 現代世界の工業の現状と課題		
二 学 期	九月	6節 第3次産業 第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信 2節 観光	定期考査・授業態度・課題により評価する。 【中間考査】 【期末考査】	・交通網や通信の発達には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れているか理解する。 ・日本の観光の特徴や利点、課題を考える。 ・世界貿易の地域性や地域間格差について、考察する。 ・村落や都市の立地や発達、形態や変容の仕方に見られる傾向や規則性、地域性について理解する。 ・世界の様々な民族の言語や宗教の独自性について理解する。
	十月	3節 貿易と経済圏 第4章 村落・都市 3節 村落と都市 1 集落の成り立ち 2 村落の形態と機能 3 都市の成立と形態・機能 4 都市圏の拡大と都市の構造		
	十一月	4節 都市・居住問題 第5章 生活文化、民族・宗教 1節 衣食住 2節 民族・宗教と民族問題 3節 国家の領域と領土問題		
	十二月			
三 学 期	一月	第1章 自然環境 1節 地形 1 地形の成因と地球表面の起伏 2 大地形 3 小地形	定期考査・授業態度・課題により評価する。 【期末考査】	・地球規模の大地形や小地形などの様々な地形の特徴や成因を理解する。 ・気温や降水量、風などを要素とする気候の違いと、その成因、人々の生活への影響を考察する。 ・日本の自然環境の特徴と災害との関わりを考察する。 ・様々な地球環境問題を解決し、地球と人類が共有できるための課題を追求する
	二月	2節 気候 1 気候の成り立ち 2 気候と生態系 3 世界の気候区分 4 様々な気候帯 5 気候変動と異常気象		
	三月	3節 日本の自然環境 1 日本の地形 2 日本の気候 4節 地球環境問題		

※シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。